

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公表番号】特表2007-508196(P2007-508196A)
 【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)
 【年通号数】公開・登録公報2007-013
 【出願番号】特願2006-534681(P2006-534681)
 【国際特許分類】

B 6 0 R 21/16 (2006.01)

B 6 0 R 21/00 (2006.01)

B 6 0 R 21/01 (2006.01)

B 6 0 R 22/46 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 21/32

B 6 0 R 21/00 6 1 0 Z

B 6 0 R 21/01

B 6 0 R 22/46

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月31日(2007.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

自動車(1)において、

前記自動車(1)の安全領域(4)内に配置されており、前記自動車(1)の運動量($aS1$)を測定する少なくとも1つの第1のクラッシュセンサ(S1)と、前記自動車(1)の衝突領域(3)内に配置されており、前記自動車(1)の運動量($aS2$)を測定する少なくとも1つの第2のクラッシュセンサ(S2)とを備え、

前記自動車(1)は点火信号(CRASH、AIR、GURT)を用いて制御される乗員保護装置(15、16)と、測定された前記運動量($aS1$ 、 $aS2$)に依存して、または、測定された前記運動量($aS1$ 、 $aS2$)の少なくとも第1の期間($[t_0 - \tau_0, t_0]$)にわたる時間的な平均値($v0S1$ 、 $v0S2$)に応じて前記点火信号(CRASH、AIR、GURT)を求める制御装置(2)とを包含し、前記点火信号(CRASH、AIR、GURT)をパターン識別法、有利には少なくとも1つのニューラルネットワークまたは少なくとも1つの決定木を使用して求め、前記少なくとも1つのニューラルネットワークまたは前記少なくとも1つの決定木は前記制御装置(2)内に実施されていることを特徴とする、自動車(1)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

自動車(1)の少なくとも1つの乗員保護装置の制御方法において、

前記自動車(1)の運動量($aS1$)を測定する少なくとも1つの第1のクラッシュセンサ(S1)を前記自動車(1)の安全領域(4)内に配置し、前記自動車(1)の運動

量 (a S 2) を測定する少なくとも 1 つの第 2 のクラッシュセンサ (S 2) を前記自動車 (1) の衝突領域 (3) 内に配置し、点火信号 (C R A S H、A I R、G U R T) を用いて制御される乗員保護装置 (1 5, 1 6) と、測定された前記運動量 (a S 1, a S 2) に依存して、または、測定された前記運動量 (a S 1, a S 2) の少なくとも第 1 の期間 ($[t_0 - \tau_0, t_0]$) にわたる時間的な平均値 ($v_0 S 1, v_0 S 2$) に応じて前記点火信号 (C R A S H、A I R、G U R T) を求める制御装置 (2) とを前記自動車 (1) 内に配置し、前記点火信号 (C R A S H、A I R、G U R T) をパターン識別法、有利には少なくとも 1 つのニューラルネットワークまたは少なくとも 1 つの決定木を使用して求め、前記少なくとも 1 つのニューラルネットワークまたは前記少なくとも 1 つの決定木を前記制御装置 (2) 内に実施することを特徴とする、自動車 (1) の制御方法。